

令和3年度 基本評価調書①		所管部局	水産林務部	所管課	森林整備課、道有林課	
施策名	エゾシカ森林被害対策の推進			施策コード	07021	
政策体系(中項目)	豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承			政策体系コード	1 (3) B	
知事公約	C0142	総合戦略	—	国土強靱化	B6212	事務事業数 3
SDGs	16 平和と公正			総合判定	遅れている	

【1 Plan】

施策目標	エゾシカによる森林被害を軽減するため、防除や捕獲などの対策を加速化させるとともに、国有林と民有林が連携し効果的な森林被害対策に取り組む。					
現状と課題	エゾシカの推定生息数や林業被害面積は、減少に転じ始めているものの未だ高い水準にあることから、エゾシカによる森林被害の低減に向けて国有林・民有林等の関係機関が連携し、防除や捕獲などの対策を総合的かつ計画的に実施する必要がある。					
主な取組	関係機関と連携した、森林内における捕獲対策の実践・普及及び防除対策の実施。					
予算額(千円)	R 3	34,354	R 2	30,464	R 1	30,354
施策のイメージ						

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	減少	個数指数	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
エゾシカ個体数指数(東部地域)	目標値		103	92	82	50以下	37.8%	D
	実績値		134	131	128	-		
設定理由	北海道総合計画や北海道エゾシカ管理計画に基づき、道内のエゾシカ個体数指数を指標として設定(環境生活部において設定)							
分析(主な取組と成果)								
国庫補助を活用したエゾシカ防除・捕獲対策を進めるとともに、道有林内の林道除雪によるエゾシカ捕獲環境の整備により、エゾシカの捕獲を推進した。								

指標名②	減少	個数指数	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
エゾシカ個体数指数(西部地域)	目標値		213	200	188	150以下	21.5%	D
	実績値		255	253	257	-		
設定理由	北海道総合計画や北海道エゾシカ管理計画に基づき、道内のエゾシカ個体数指数を指標として設定(環境生活部において設定)							
分析(主な取組と成果)								
国庫補助を活用したエゾシカ防除・捕獲対策を進めるとともに、道有林内の林道除雪によるエゾシカ捕獲環境の整備により、エゾシカの捕獲を推進した。								

指標名③		R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値						
	実績値						
設定理由							
分析(主な取組と成果)							

令和3年度 基本評価調書②	施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07021
---------------	-----	---------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	エゾシカ個体数指数（東部地域）	134	131	128	82	D
	エゾシカ個体数指数（西部地域）	255	253	257	188	D
目標（指標）の達成状況	エゾシカ個体数指数（東部地域・西部地域）について目標に向けたさらなる取組が必要。				指標総合判定	D
連携状況	国有林、民有林、試験研究機関と庁内各部が連携し、被害対策に関する会議の開催や捕獲技術の研修の実施など、関係機関と連携した取組がなされている。また、エゾシカ森林被害対策連絡協議会の開催を通じ、情報の共有や意見交換を実施している。				連携判定	○
緊急性優先性	期成会等の地域からの要望を参考に地元自治体や猟友会と連携してエゾシカ対策を実施しているほか、国や試験研究機関と連携した取組を行っている。エゾシカ捕獲率の向上に向け、国に対して必要な要望を実施している。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	エゾシカ森林被害対策の推進に向けて、国や市町村、試験研究機関と連携した取組が着実に推進されているものの、指標の達成に向けたさらなる取組が必要。				総合判定（一次評価）	遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	市町村や森林組合等が実施する捕獲や防除事業への支援を行うとともに、エゾシカ森林被害対策連絡会等を活用した関係機関の連携を促進し、エゾシカによる森林被害の低減を図る。
②	道有林基本計画に基づき、地元自治体や猟友会と連携した狩猟によるエゾシカ被害対策、林道除雪による捕獲環境整備及び道有林自らによるエゾシカ捕獲事業を実施していく。	
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	—	対応状況 (R3.3時点)	—
R3年度二次政策評価	ゼロカーボン北海道実現の観点から、森林による二酸化炭素吸収量の増加を図るため、森林の整備・保全が重要であり、取組の一層の推進を検討すること。また、健全な生態系の保全を図るため、エゾシカの適正な捕獲数管理は重要であり、取組の一層の推進を検討すること。		

【3 Action】

二次政策評価への対応	森林の整備及び健全な生態系の保全を図るため、関係機関と連携を図りつつ、道有林内の林道除雪による狩猟環境整備や囲いワナ等による捕獲などを進めるほか、専門的知見を有する者の助言を受け、技術等の向上を図りながら行う複数市町村による広域的な捕獲対策等への支援を行う。 令和4年度からは、ドローンと監視カメラを活用したエゾシカの行動把握調査を踏まえた捕獲の実践に対して支援を行うなど、さらなる捕獲の効率化を図る。
R4施策の方向性	効果的なエゾシカ捕獲を推進するため、関係機関と連携を図りつつ、道有林内の林道除雪や囲いワナ等による捕獲などを進めるほか、専門的知見を有する者の助言を受け技術等の向上を図りながら行う複数市町村による広域的な捕獲対策等への支援や、ドローンと監視カメラを活用したエゾシカの行動把握調査を踏まえた捕獲の実践への支援を行う。